

平成 29 年度 「高圧ガス保安活動促進週間」ポスター用の キャッチコピーを募集いたします

<あなたの応募作品がポスターとなって全国で掲示されます>

平成29年度も昨年度に引き続き、高圧ガス保安活動促進週間が10月23日から29日に予定されています。例年、高圧ガス保安協会では、この促進週間における活動の一環として、高圧ガスに対する保安意識のさらなる向上を図るため、キャッチコピーを掲載したポスターを作成しています。

今年も、このポスターに掲載するキャッチコピーを募集することといたしました。高圧ガスの保安活動を広く呼びかけるためにふさわしいキャッチコピーをお寄せください。高圧ガス保安協会では、採用されたキャッチコピーを用いてポスターを制作し、制作されたポスターは全国の官公庁、高圧ガス関連事業所、販売店等で掲示されます。

高圧ガス保安協会は、応募された方のプライバシーを尊重します。

◇応募の際、氏名、勤務先等の個人情報を明記していただきます。選定された場合には、これらの個人情報を公表することがあります。

◇応募の際にいただいた情報は、高圧ガス等の保安教育に関連した講習、書籍等についての情報提供にも使用することがあります。

<応募要領>

1. 応募方法

- (1) 高圧ガス（LPガスを含む。）に対する保安意識の向上や保安対策の重要性を呼びかけるポスターに使用できるようなキャッチコピーを募集します。過去10年間の作品を参考に自由な発想でご応募ください。ただし、本活動における過去の採用作品及び他団体の標語等と類似していると思われるものは、選定対象となりませんのでご注意ください。なお、応募はプロ、アマチュアを問いませんが、特に、高圧ガスに関係する職場にお勤めの方々が、実際に体感したことや保安について常に心掛けていることをキャッチコピーにして、是非この機会にご応募ください。
- (2) 応募作品は常用漢字、ひらがな、カタカナを使用した作品を基本としますが、誰もが理解できると判断されるものであればアルファベットでも結構です。
- (3) 採用作品に係る著作権は、すべて当協会に属するものとします。採用作品は、ポスターを制作する際に、デザインやゴロ合わせ等のために一部修正する場合があります。
- (4) 応募は、高圧ガス保安協会のWebサイト（ホームページから「公募のご案内」をご参照ください。）に掲載している応募様式（Excel形式）をダウンロードのうえ、作品、住所、氏名、電話番号及び勤務先等の必要事項を入力し、電子メール（edu@khk.or.jp）に添付して送信願います（電子メールをご利用にならない場合はFAXも可）。
- (5) 応募は、お一人様何点でも構いません。事業所等で取りまとめる場合も、応募様式を用いてのご応募をお願いいたします。
- (6) 採用作品は、ポスター以外に封筒、周知用グッズ等にも使用する場合があります。

2. 募集期間

平成29年3月1日から4月28日

3. 選定方法

採用作品の審査は、高圧ガス保安協会内に設置する選定会で厳正な審査のうえ、決定いたします。

4. 発表

高圧ガス誌9月号及び高圧ガス保安協会Webサイト上（9月上旬）等で行います。

5. 賞品等

採用作品に対する賞品等は次のとおりです。

- | | | |
|----------------------------|-----|------------|
| ・会長賞 | 1名 | 賞状及び賞金10万円 |
| ・入選 | 若干名 | 賞状及び賞金3万円 |
| ・佳作 | 若干名 | 賞状及び記念品 |
| ・団体協力賞（法人単位で応募いただいた事業所が対象） | 若干名 | 記念品 |

なお、会長賞の作品はポスターに採用するとともに、表彰者を高圧ガス保安協会全国大会（10月27日に東京で開催予定）にご招待し、表彰式において賞状等を授与いたします。

6. 送付先及び問合せ先

高圧ガス保安協会 教育事業部 担当：海老原

◇E-mail edu@khk.or.jp

◇TEL 03-3436-6102

◇FAX 03-3459-6613

◇住所 〒105-8447 東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル

【応募様式】

高圧ガス保安協会 Web サイトの「公募のご案内」ページに掲載しております。

http://www.khk.or.jp/information/pad/public_ad.html

（ホームページ<http://www.khk.or.jp>から「公募のご案内」をクリック）

※ポスターのデザインは、キャッチコピーに合わせてこちらで新たに制作いたします。



平成27年度のポスター



平成28年度のポスター

◆ポスターに使用された過去10年間のキャッチコピー（参考）

平成19年度	危険の芽 それを見つける 確かな目
平成20年度	安全と ことばで言うより まず確認
平成21年度	全員の 意識で成り立つ 無災害
平成22年度	無意識を 意識に変える 指差し呼称
平成23年度	「まあ、いいか・・・」小きなつぶやき 大きな事故
平成24年度	迷ったら、迷わず行こう 再確認
平成25年度	危険性 感じて高める 現場力
平成26年度	見たはず、したはず、消したはず それでは事故も起きるはず
平成27年度	たぶん・おそらく・いいだろう 気になる時は再確認
平成28年度	「誰かやる」思う心が 危険源